



インテンシブイングリッシュ(理工学部)

外国人教員による特別プログラム

実施日: 2021年4月7日～2021年7月7日

実施方法: Zoomオンライン

リーダー: 理工学部 環境創生理工学科社会基盤・防災コース2年 張翰寧

講師: 群馬大学非常勤講師 Deanna Clause先生



概要

本講義の趣旨は、将来、GFL(グローバルフロンティアリーダー)として国際社会で活躍するために必要とされているビジネス英語力を様々な技能に涉って身に付けると共に、特に英会話のスキルと、多視点に渡る諸事情についてコミュニケーションできる能力などを鍛え、学生たちの国際的視野を培うことを目的とした。

また、新型コロナウイルス感染症の蔓延を考慮して、今年度はZoom等を用いたオンラインでの開催とし、3か月間のGFL生限定の英語特別セミナーとして開講された。ここでは普段の学習では学べないプレゼンテーションスキルや国際情勢について学び、特に新型コロナウイルスが猛威を振るう現在の世界について、自分たちの考えを英語で発信・発言することができ、十分に「インテンシブイングリッシュ」に適した講義内容であったと思う。今回の講義を自分自身の成長に繋がる重要な過程として捉え、全員が意識を高く持って参加することができた。



実施内容について

・実施スケジュール

2021/4/7(水)、4/14(水)、4/28(水)、5/12(水)、5/19(水)、5/26(水)、6/2(水)、6/9(水)、6/16(水)、6/23(水)、6/30(水)、7/7(水)

17:40～19:10 計12回

・講義内容

講義の前半は TED Talks のプレゼンターたちのプレゼンテーションを視聴しそれに対する感想や意見を発表した。その後は興味関心のある国際情勢や科学技術についてスライドショーを作成し最終回で発表した。Deanna 先生は主に私たちのスピーキング力を鍛え、他の3技能についても手厚い指導をしていただいた。

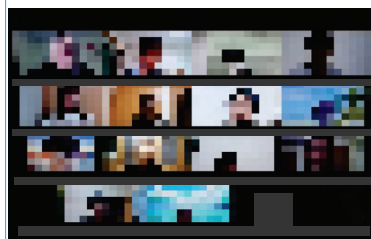


図1: 講義風景

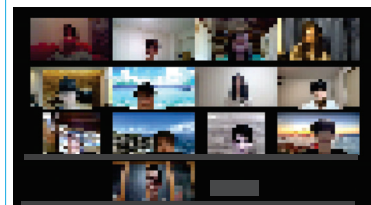


図2: 集合写真(一部)

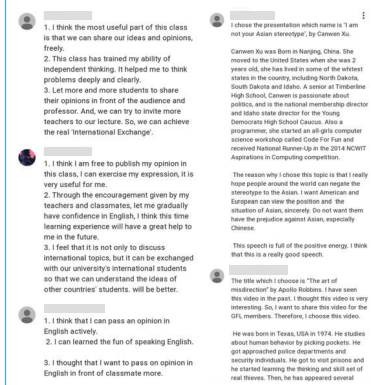


図3: 感想やコメント

TED Talks を視聴して、それに
関する意見や感想を皆とシェア

- ・人権保護(アジアヘイト)に関するスピーチ
- ・地球温暖化の悪化と人類の取り組みに関するスピーチ
- ・起業家の創業ストーリーに関するスピーチ
- ・コロナ禍におけるグローバル化に関するスピーチ
- etc...



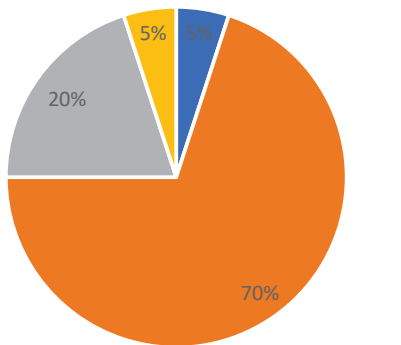
生きているうちに実現させたい、
もしくは見たい新たな技術の実現

- ・AI(機械文明)と人類文明との共存を見たい!
- ・6G, 7Gによる新たなデジタル世界を見たい!
- ・IoTによる「物と物のつながり」の現実版を見たい!
- etc...



・新たな試み

インテンシブイングリッシュの講義は今年度において、初めてZoomを用いたオンラインによる開催となった。このような状態下においても参加者間の交流をスムーズに進められるよう、これまで使ったことのなかったアプリケーションやオンラインツールを使用し、それを活用できるようになった。よって、今年度の講義は、英語によるコミュニケーションができただけでなく、各種アプリなどを使いこなし、参加者全員の「オンラインが主流となった日常」に対してしっかり意識し、柔軟にそのような生活に対応できるようになった有意義な時間であったとも言える。



■ Listening ■ Speaking ■ Reading ■ Writing

表1: 講義構成の割合

	Google Classroom	課題用
	Zoom	講義用
	PowerPoint	作業用
	Google Document	メモ用
	Webex	会議用

表2: 講義で使用了各種アプリや学習ツール

まとめ

インテンシブイングリッシュは実に素晴らしい講義であった。普段の講義では、それぞれの専門分野の知識を学び、課題に取り組む。固定化された知識や概念などをいっぱい頭の中に詰め込んでいたが、インテンシブイングリッシュを通して、世界各地で起きている様々な問題や実情など、普段接することの無い色々なことを知ることができた。更に、各種問題について考えるチャンスも与えられ、自分の考えと意見を英語を用いて相手にわかりやすく伝達することもしっかりと体験することができた。その際、如何にわかりやすく相手に伝えるのか、そしてどんな手段を使ったほうがいいのかということも考えなければならないことから、非常に頭の「柔軟性」が求められていたと感じている。英語力やコミュニケーション能力の上昇だけではなく、自分の考えたことに自信をもって、周りへ発信することの重要性に気づき、その行動を起こす力もしっかり身に付けることができたと思った。インテンシブイングリッシュの講義自体は既に終了したが、今後もしっかり国際情勢やニュースに関心を払い、もっと自分で考えて周りや世界への発信することを心掛け、「グローバル人材」という模範像に向けて努力したいと考えている。

総括&展望

新型コロナウイルスが猛威を振るっている今の世界は、オンラインによるやり取りを中心とする生活へと変化し、人との繋がりが減少した。だからこそ、より正しく確実な伝達能力や新たな繋がりが求められている。そして、「グローバル化」というのも大いに形式が変わってしまった。国際交流においてもこれまでになかった新しい形式を用いて交流するようになり、英語による国際コミュニケーションはこの新時代の中において更に重要な役割を担うようになってきていると思う。大学生としても、逆にコロナ禍を利用して自分自身の成長に繋がるチャンスを自ら作らなければならないと感じている。

今までは自分たちと言語が通じ、自分たちと同じ価値観を持つ人たちとしか交流ができなかったが、オンラインによる交流が盛んである今、「場所」というネックを取り払うことができた。しかし、話す言語が違っても価値観も違う外国人たちとの交流は刺激の満ちている体験であるが、想像以上に難しい。そのため、そのような人たちにも自分たちの言葉や考えが伝わるような英語を話せるように意識していきたい。未熟な部分は数多くあるが、インテンシブイングリッシュで得られた知識を糧に、今後も努力を続けていきたい。そして、この活動を通して培った能力が真に身に付いた、ということを実証できるような人間になることを目標にし、他のGFL生とも切磋琢磨していきたいと考えている。